

令和5年3月

各 位

八戸市東京事務所長

八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート令和5年3月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださいますようお願いいたします。

サッカーJ3参入5季目で、昨季10位だったヴァンラーレ八戸は、3月4日にFC琉球と敵地で今季開幕戦を迎えました。

また、ホーム開幕戦は3月26日で、FC岐阜と八戸市のプライフーズスタジアムで対戦します。

ヴァンラーレ八戸の今季のスローガンは「全緑 2023 EVER GREEN」。J2昇格へ向け闘うチームを「全緑」で応援しましょう。

◆ヴァンラーレ八戸の詳細はこちらをご覧ください（チームホームページ）

<https://vanraure.net/>

◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

八戸 3月号 レポート

令和5年2月の八戸市内での出来事や八戸市に関連する情報をお届けします。

【行政】

記事	概要
(1)	産学官連携推進会議「八戸地域学」来年度も継続
(2)	地域おこし協力隊 観光、物産振興に意欲 福岡沙織さん（八戸出身）に委嘱状
(3)	「八戸ふるさと交流フォーラム」3年ぶり 都内で開催
(4)	八戸水産アカデミー先進事例紹介 バリューチェーン構築を
(5)	八戸市23年度事業「子どもファースト」強化
(6)	八戸市 歩いてポイント！健康アプリ「健はちプラス+」運用開始
(7)	伊調ロード構想復活 長根公園内、24年度着工目指す
(8)	市がまちづくりビジョン案 中心街再興へ官民一体
(9)	八戸駅前東口広場 再整備計画 バス、タクシー出入口集約

【産業】

記事	概要
(10)	県内ローソンで発売 漁港ストア（八戸）監修カップ麺
(11)	八食センターへ立教大生提案 ECサイト回遊率向上を
(12)	八戸北インター工業団地 東京の不動産開発会社など自動冷凍・冷蔵倉庫新設へ
(13)	ACプロモート（八戸） 県南の旅行商品開発 漁師、農家の日常体験
(14)	VISITはちのへ 台湾からの誘客拡大へ

【地域】

記事	概要
(15)	八戸の魅力ポスターに 生徒の力作、中心街彩る
(16)	八戸・チーノ再開発 複合施設に複数飲食店
(17)	元地域おこし協力隊、Uターン就農の吉田さん 地物野菜の総菜店開店へ奮闘中

【文化・スポーツ】

記事	概要
(18)	4年ぶり 第42回八戸うみねこマラソン5月21日開催
(19)	三八五流通・泉山社長と横浜製作所・堀井会長 八戸市美術館で写真展
(20)	3年ぶりの八戸えんぶり閉幕

【行政】

記事	概要
(1)	<p>産学官連携推進会議「八戸地域学」来年度も継続</p> <p>八戸市、八戸商工会議所、各高等教育機関で構成する八戸産学官連携推進会議は2月3日、市内の4高等教育機関共通の講義となる「八戸地域学」を来年度以降も継続実施することを決めた。八戸地域学は、学生が地域の歴史や文化、産業などについて学び、愛着を醸成して地元定着の促進につなげることを狙いとして昨年10月に創設された。本年度は、熊谷雄一市長、八戸工業大の坂本禎智学長、八戸商工会議所の塚原隆市副会長兼専務理事が講師を務め、市民に公開する形で講演した。</p>
(2)	<p>地域おこし協力隊 観光、物産振興に意欲 福岡沙織さん（八戸出身）に委嘱状</p> <p>八戸市は2月1日、地域おこし協力隊として福岡沙織さん（八戸市出身）に委嘱状を交付した。福岡さんは、岩手大卒業後に上京し、金融関係の企業などに勤務。3年半ほど都内で生活する中で、地元である八戸を若い人が住みやすいまちにしたいとの思いを強くしたという。福岡さんは、八戸圏域版DMO（観光地域づくり推進法人）VISIT（ビジット）はちのへに所属し、圏域の観光・物産振興に関する活動に従事する。任期は最長3年。2015年から受け入れた隊員は福岡さんを含めて計9人となった。</p>
(3)	<p>「八戸ふるさと交流フォーラム」3年ぶり 都内で開催</p> <p>八戸市ゆかりの首都圏在住者が集う「八戸ふるさと交流フォーラム」が2月14日、東京・麹町で開かれた。新型コロナウイルス禍を経て3年ぶりに市が開催。世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」を構成する是川石器時代遺跡をテーマにした討論などを通じ、参加者が八戸の魅力発信に向けた可能性を探った。討論では、「土偶女子」として縄文関連の著作のある文筆家の譽田（こんだ）亜紀子さんと熊谷雄一市長、市埋蔵文化財センター是川縄文館の工藤朗館長がパネリストを務めた。討論に先立つ市政報告では、熊谷市長がまちづくりなどの施策を紹介した。</p>
(4)	<p>八戸水産アカデミー先進事例紹介 バリューチェーン構築を</p> <p>八戸市の水産業再興を目指す「八戸水産アカデミー」の第4回研修会が2月14日市内で開かれ、水産庁加工流通課の佐藤文夫課長補佐が「水産バリューチェーン構築に向けて」と題して講演した。水産バリューチェーンは、既存の流通形態では補えない魚の価値を高めることを重視する取り組み。同氏は、多品種少量の水揚げを生かして総菜メーカーと連携して進めた商品開発や、地域全体を巻き込んだ養殖魚のブランド化、新幹線を活用した物流など、他県の先進事例を紹介しながら、チェーンの重要性を解説した。参加者らは、生産現場から消費者までの流過程で、魚の商品価値を向上させる取り組みに理解を深めた。</p>
(5)	<p>八戸市23年度事業「子どもファースト」強化</p> <p>八戸市は2023年度、熊谷雄一市長が政策公約の柱に据えた「子どもファースト事業」の強化に乗り出す。23年度の子どもファースト関連事業は前年度から18増え、全33メニューを予定。市の機構改革案では「こども健康部」を新設し、施策を集約して事業の迅速化と効率化を図る。事業には、病児・病後児保育のインターネット予約サービスの県内初導入や、18未満の市民を対象としたプレミアム付き商品券発行事業を組み込むなど、総合的な支援として八戸市の特色を出した。</p>

(6)	<p>八戸市 歩いてポイント！健康アプリ「健はちプラス+」運用開始</p> <p>八戸市は、スマートフォン向けアプリ「健はちプラス+」の運用を3月1日から開始する。歩数などに応じてポイントが付与される仕組みで、ポイントがたまれば景品が当たる抽選に応募できる。健康づくりに向けた行動を促し健康寿命延伸を目指すことを目的としている。ポイントは自ら設定した毎日行う健康活動について、実施した項目を1日1回チェックすれば加算される。獲得したポイントなどによるランキング表示やグループ機能もあり、個人だけでなく家族や職場、友人と楽しめる。18歳以上の市民が対象で登録、利用料は無料。</p>
(7)	<p>伊調ロード構想復活 長根公園内、24年度着工目指す</p> <p>八戸市は、レスリング女子で五輪4連覇を果たした八戸市出身の伊調馨選手の功績をたたえ、長根公園内に「伊調ロード」を整備する。伊調ロードは、市が進める「レスリングの街」推進事業の一環。2019年3月に計画の基本構想を公表したが、財源の確保がネックとなり事業は事実上、凍結状態だった。今回、国の交付金を活用することで整備のめどが付いた。伊調選手やレスリング関係者の意向を踏まえて設計を進め、24年度着工を目指す。</p>
(8)	<p>市がまちづくりビジョン案 中心街再興へ官民一体</p> <p>八戸市は「市中心市街地まちづくりビジョン案」を公表した。食や横丁といった八戸に根付く資源の活用や商店街組織の機能強化など、中心街を再興する方向性を打ち出した。市民アンケートや関係者らの意見を参考に取まとめ、2023年度策定予定の「第4期市中心市街地活性化基本計画」の指針にも位置づける。期間はおおむね10年間で、「人が主役の街づくり」「地域の資源を生かそう」「活力ある経済と社会」「横断的なマネジメント」の4つを柱に、にぎわいの創出などの課題解決に向けて商店街の団体や商工会議所などの連携を強化しながら、官民一体となった取り組みを進める。</p>
(9)	<p>八戸駅前東口広場 再整備計画 バス、タクシー出入り口集約</p> <p>八戸駅前東口広場の再整備に向け、基本計画の策定を進める検討委員会は2月20日、八戸市庁で第6回会議を開き、市側が最終案の方向性を提示した。現在のバスプール側、タクシープール側の配置は変えず、それぞれの出入り口を1カ所に集約。バスプール側は路線、高速、観光バスの専用スペースとし、自家用車の短時間駐車場を廃止する。タクシープール側には身体障害者らの優先スペースを設置し、自家用車降車場を再編。中央の駅前広場は拡幅し、キッチンカーなどが乗り入れできるようなイベントスペースの機能を高め、にぎわい創出を図る。</p>

【産業】

記事	概要
(10)	<p>県内ローソンで発売 漁港ストア（八戸）監修カップ麺</p> <p>八戸市の館鼻岸壁で営業する「浜のスーパー 漁港ストア」が監修したカップ麺が2月7日から県内のローソンで販売されている。漁港ストアが監修する商品の発売は初めて。開発は昨夏ごろスタートし「昔懐かしい優しい味わい」をコンセプトに、試作を重ねて完成したという。スープはイカと煮干しのエキスを加えたしょうゆ味の風味豊かな仕上がり。歯切れの良い中細麺を採用し、具材はネギやワカメなどを加えた。価格は295円（税込み）。</p>

(11)	<p>八食センターへ立教大生提案 ECサイト回遊率向上を</p> <p>八戸市の八食センターが立教大観光学部との連携事業として進める「観光ビジネスプロジェクト」で、本年度のテーマ「電子商取引（EC）サイトの強化」に向けた学生チームのアイデアが出そろった。学生らは、八食で働く人々や旬の食材にスポットを当て、利用者の関心を引き、サイト内のページを見て回る「回遊率」の向上を目指す仕組みなどを提案した。八食側は学生らの意見を踏まえ、オンラインショップの改善を検討し、売り上げの増加や新規客の開拓につなげたい考え。</p>
(12)	<p>八戸北インター工業団地 東京の不動産開発会社など自動冷凍・冷蔵倉庫新設へ</p> <p>不動産開発事業を手がける「霞ヶ関キャピタル」（東京）は、八戸北インター工業団地内に食品関係を取り扱う自動冷凍・冷蔵倉庫を新設する計画を明らかにした。JA三井リース建物（東京）との「協働開発プロジェクト」で、作業の効率化や省人化を図る先進的なオートメーション型倉庫。荷主から受けた冷凍・冷蔵食品などを保管、配送する拠点となる。水産や畜産などの食品製造が盛んな北奥羽地方の優位性を踏まえ、市場ニーズが高いと見込んだ。2月下旬着工で2024年下半期の完成を目指す。</p>
(13)	<p>ACプロモート（八戸） 県南の旅行商品開発 漁師、農家の日常体験</p> <p>八戸市の旅行会社「ACプロモート」が、青森県南地方の漁師や農家ら地元生産者の日常を体験できる旅行商品を開発した。PRには、視聴者が動画の画面をクリックやタップしたりする仕掛けが組み込まれた「インタラクティブ動画」の手法を用いた。旅先で地元のリアルな暮らしを体験したいとの需要が高まっていることから、「種差地魚漁師篇」「六戸短角牛牧場篇」「三戸りんご園農家篇」の3つを開発。いずれも地元の漁師や畜産農家、りんご農家の営みを体験しながら新鮮な魚や肉、果樹を堪能できる。動画の画面表示をクリックすると詳細情報が記載されたページにつながり、申し込みまでの一連の手続きが可能。</p>
(14)	<p>VISITはちのへ 台湾からの誘客拡大へ</p> <p>八戸圏域版DMO（観光地域づくり推進法人）VISIT（ビジット）はちのへは、青森県内での宿泊が特に多い台湾からの観光客拡大に力を入れている。ビジットはちのへはこれまで、欧州やオーストラリアを主なターゲットに海外向けプロモーションを展開してきたが、新型コロナウイルス感染拡大以前の2019年来県が最も多かった台湾からの誘客に注力。今般、17日の八戸えんぶり開幕に合わせ、中華圏からの誘客事業を展開する「和楽旅行社」（仙台市）を招待。えんぶりの魅力や食、八戸に根付く横丁文化をPRし、新たな旅行商品の販売に向けた可能性を探った。</p>

【地域】

記事	概要
(15)	<p>八戸の魅力ポスターに 生徒の力作、中心街彩る</p> <p>八戸市中心街に市立第二中の生徒が制作した八戸の魅力を詰め込んだポスターが掲示されている。市の奨励金を受けて本年度実施している「二中まちなかカレッジ ポスターボードアップデート事業」の一環で、同校PTAが企画し、生徒有志11人が制作に参加。昨年7月には中心街を視察し、商店街関係者から現状や課題を聞くなどしながら、ポスターのイメージを膨らませてきた。ウミネコや合掌土偶、せんべい汁など八戸を代表する文化や食が描かれ、街なかに新たな彩りを与えている。</p>

(16)	<p>八戸・チーノ再開発 複合施設に複数飲食店</p> <p>1月に閉館した八戸市十三日町の商業ビル「チーノはちのへ」の再開発で、事業を担う「フージャースコーポレーション」（東京）は、建設を予定する複合施設の概要やコンセプトを明らかにした。複合施設は「食・滞在」をコンセプトとし、昼夜を通した利用を見込む。八戸に根付く横丁文化をイメージし、1階は小規模の飲食店が複数立ち並ぶ構成を想定。複合施設のほか「ハナミズキ通り」沿いに分譲マンション2棟、十六日町側に立体駐車場の建設を予定。中心街の目抜き通りを再整備する市の「ストリートデザイン事業」との連携を図りながら、より効果的な街なか開発につなげたいと強調する。</p>
(17)	<p>元地域おこし協力隊、Uターン就農の吉田さん 地物野菜の総菜店開店へ奮闘中</p> <p>八戸市の地域おこし協力隊を経てUターン就農した吉田宗司さん（八戸市出身）が、地元産野菜中心の総菜店の開店準備を進めている。吉田さんは大学卒業後、製薬会社勤務を経て2019年に同隊へ参画し、農業に従事。現在は減農薬のピーマンやワイン用ブドウに取り組んでいる。今夏の実店舗開設に向けた実務経験などを目的に、八戸インテリジェントプラザ3階の食堂で「アテナ惣菜すずめさん」の店名で弁当と総菜の販売を始めた。自身と気心の知れた農家が育てた食材を生かし、健康と味の両立を追求する。将来は自ら栽培したブドウを使ったワインの提供も目指す。</p>

【文化・スポーツ】

記事	概要
(18)	<p>4年ぶり 第42回八戸うみねこマラソン5月21日開催</p> <p>八戸市陸上競技会とデーリー東北新聞社は、「第42回八戸うみねこマラソン全国大会」を5月21日（日）に同市新湊3丁目の館鼻岸壁を発着点とするコースで開催する。新型コロナウイルスの影響で2020年の第39回大会から連続中止しており、4年ぶりの開催となる。種目は公益財団法人日本陸上競技連盟公認コースのハーフ（21.0975キロ）と10キロ、5キロ、3キロで、性別、年齢で区分した21部門。表彰は8位まで。第38回大会で創設した「チエコ共和国杯・人見絹枝賞」は、3キロタイムなしを除く20部門のうち、当日抽選で選んだ種目の優勝者に贈呈する。</p>
(19)	<p>三八五流通・泉山社長と横浜製作所・堀井会長 八戸市美術館で写真展</p> <p>三八五流通（八戸市）社長の泉山元氏と三八五ホールディングスでアドバイザーを務める横浜製作所（神奈川県）会長の堀井裕子氏による二人展「縄文人を尋ねて」が2月4日から26日まで、八戸市美術館で開催された。泉山氏は各地の遺跡の出土品や、縄文人の精神文化を推察できる風景を捉えた写真を中心に出演。堀井氏は現代に息づく縄文の価値観を見いだしたというアイヌ文化をテーマに撮影した作品を出演。7年にわたって北海道から沖縄まで全国各地を尋ねて撮影した土器や土偶などの写真約360点が展示され、多彩な作品を通し、現代に残る縄文人の営みを伝えた。</p>
(20)	<p>3年ぶりの八戸えんぶり閉幕</p> <p>約800年の歴史を誇る国指定重要無形民俗文化財「八戸えんぶり」が2月20日、4日間の全日程を終えた。コロナ禍を乗り越え、3年ぶりの開催となった伝統行事。19日は雨だったものの、期間を通しておおむね天気にも恵まれ、期間中の入り込み数は延べ29万6千人に上り、前回2020年の25万人を上回るにぎわいを見せた。最終日の八戸市内は青天となり、青空の下、太夫が豊作への祈りを込めて渾身の摺りを披露。春の訪れを心待ちにする市民らは、名残を惜しみながら暖かい拍手を送った。</p>

はちのへ

ふるさと寄附金のご案内

『ふるさと寄附金』で八戸を元気に!

八戸市では、「八戸を応援したい!」「八戸が大好き!」という方々からいただくご寄附を『ふるさと寄附金』と名付け、八戸の魅力を高めるためのさまざまな事業に活用させていただきます。ぜひ、『ふるさと寄附金』という形で八戸市を応援してください!



ふるさと寄附金の3つの魅力

① 寄附金の使い道を指定できる

震災復興、子育て支援、まちづくりなど複数の分野から、寄附金の使い道を選ぶことができます。

② 税金が控除(還付)される

控除上限額内で寄附を行うと、合計寄附額から2,000円を超える部分について、所得税の還付や住民税の控除を受けることができます。(控除上限額は収入や家族構成によって異なります。詳しくはお住まいの市区町村の個人住民税担当部署にお問い合わせください。)

③ お礼の品がもらえる

八戸市では、10,000円以上の寄附をされた八戸市外にお住まいの個人の方に、地域の名産品を「お礼の品」としてお届けしています。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

TEL:03-3261-8973 FAX:03-3239-6723

Email:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

[所長] 松橋 大輔 [主事] 前田 哲 [事務員] 浜井 章代

申込み方法

郵送・FAX・メール

- 「ふるさと寄附金申込書」に必要事項をご記入の上、ご提出ください。
- 申込書は市ホームページからもダウンロードできます。
- 申込書の郵送をご希望の方はご連絡ください。

市ホームページ



インターネット

- 下記2つのふるさと納税ポータルサイトから商品をお選びいただけます。
- 各ポータルサイトの決済方法に従って、寄附金のお支払いをお願いします。
- クレジットカード決済をご希望の場合はこちらからお申込みください。

ふるさとチョイス

楽天ふるさと納税



送付先

八戸市 広報統計課 ふるさと寄附金担当

〒031-8686

青森県八戸市内丸1-1-1

TEL:0178-43-2319

FAX:0178-47-1485

Email:furusatofax

@city.hachinohe.aomori.jp

※担当部署が住民税課から広報統計課に変わりました。

八戸市東京事務所では、企業誘致や八戸市関連情報の発信等を行っております。関連情報がございましたら、ご提供くださるようお願いいたします。また、事務所の近くにお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄りください。